平成25年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年５月８日

上 場 会 社 名	応用地質株式会社		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	9755		URL　http://www.oyo.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)　代表取締役社長	(氏名)	成田　賢
問合せ先責任者	(役職名)　取締役常務執行役員 事務本部長	(氏名)	河野　啓三　(TEL) 03 (3234) 0811
四半期報告書提出予定日	平成25年５月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年12月期第１四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第１四半期	12,753	1.3	1,684	△15.2	1,774	△19.5	1,093	△27.2
24年12月期第１四半期	12,586	―	1,985	―	2,204	―	1,501	―

(注) 包括利益　25年12月期第１四半期　2,627百万円(51.9%)　24年12月期第１四半期　1,730百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第１四半期	40.37	―
24年12月期第１四半期	55.45	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第１四半期	68,779	57,011	82.5
24年12月期	65,485	54,620	83.0

(参考) 自己資本　25年12月期第１四半期　56,773百万円　　24年12月期　54,383百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	6.25	―	8.75	15.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		9.00	―	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	5.6	2,500	1.4	3,000	△10.0	1,800	△68.7	66.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期１Ｑ	32,082,573株	24年12月期	32,082,573株
②　期末自己株式数	25年12月期１Ｑ	4,999,796株	24年12月期	4,999,429株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期１Ｑ	27,082,879株	24年12月期１Ｑ	27,083,814株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
（４）追加情報 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 ……7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（６）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、長期化する欧州債務問題、中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が続いていますが、我が国経済は、新政権の金融緩和、財政出動などによる景気回復への期待感から、円安の進行、株価の上昇が見られました。

また、国内の建設投資分野では、大型予算の成立を受けて、今後、国土強靭化計画に関連する震災復興分野、防災・減災分野、維持管理分野の予算執行が期待されますが、当第１四半期連結累計期間は、大型予算の影響は現れておりません。

このような状況の中、当第１四半期連結累計期間の当社グループ受注高は、調査・コンサルティング事業と海外の計測機器事業が前年同期と概ね同水準で推移しましたが、国内の計測機器事業が減少し、95億7千９百万円（前年同期比92.1%）となりました。

売上高は、海外の計測機器事業が減収となりましたが、国内の計測機器事業が増収となり、127億５千３百万円（同101.3%）と前年同期を上回る水準になりました。

損益は、売上原価が悪化したことにより、営業利益が16億８千４百万円（同84.8%）、経常利益が17億７千４百万円（同80.5%）、四半期純利益が10億９千３百万円（同72.8%）と減益となりました。

当第１四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

① 調査・コンサルティング事業

当事業は、受注高が73億９千７百万円（前年同期比98.2%）と概ね前年同期と同じ水準を維持しましたが、第２四半期への繰越分が増加し、売上高が95億４千１百万円（同95.6%）となり、売上原価が悪化したことから、営業利益が12億円（同74.2%）となりました。

② 計測機器事業(国内)

当事業は、前年同期に大型業務を受注した反動により、受注高が６億３千５百万円（前年同期比41.6%）となりましたが、前年からの繰越分を順調に売上計上した結果、売上高が16億６千９百万円（同225.4%）となり、営業利益が４億３千６百万円（同353.8%）となりました。

③ 計測機器事業(海外)

当事業は、受注高が15億４千６百万円（前年同期比115.4%）と増加しましたが、大型プロジェクト業務の終了に伴い売上高が15億４千２百万円（同82.7%）となり、売上原価が悪化したことから、営業利益が４千７百万円（同20.8%）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32億９千４百万円増加し、687億７千９百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ24億１千３百万円増加し、455億４千２百万円となりました。これは主として、当社グループの調査・コンサルティング事業において年度末の３月に売上計上する業務が多く、前連結会計年度末に比べ完成業務未収入金が37億４千５百万円増加する一方で、現金及び預金が15億８百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ８億８千万円増加し、232億３千６百万円となりました。これは主として、投資有価証券が７億３千６百万円増加したことによります。

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ９億３百万円増加し、117億６千７百万円となりました。これは主として、業務未払金、未払法人税等が増加することで流動負債が７億３千５百万円増加し、また固定負債が１億６千７百万円増加したことによります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億９千万円増加し、570億１千１百万円となりました。これは主として、四半期純利益を10億９千３百万円計上したことにより利益剰余金が増加し、株主資本が８億５千５百万円増加したこと、及び円安の影響により為替換算調整勘定が前連結会計年度末に比べ13億４千２百万円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は82.5%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の業績は、期初の業績予想の範囲内で推移しており、現時点で平成25年12月の当社連結業績予想（平成25年２月13日）に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社においては、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法により計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

（４）追加情報

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,471	18,962
受取手形及び売掛金	1,129	2,159
完成業務未収入金	10,098	13,844
リース債権及びリース投資資産	648	721
有価証券	2,313	1,629
未成業務支出金	3,315	2,845
商品及び製品	746	645
仕掛品	1,141	970
原材料及び貯蔵品	1,445	1,499
その他	1,837	2,288
貸倒引当金	△19	△23
流動資産合計	43,129	45,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,058	5,011
土地	6,843	6,854
その他（純額）	1,070	1,089
有形固定資産合計	12,972	12,956
無形固定資産	397	393
投資その他の資産		
投資有価証券	5,425	6,162
関係会社出資金	－	144
その他	4,224	4,243
貸倒引当金	△664	△663
投資その他の資産合計	8,985	9,886
固定資産合計	22,355	23,236
資産合計	65,485	68,779

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	552	519
業務未払金	1,476	1,910
短期借入金	1	1
未払法人税等	329	815
賞与引当金	266	330
受注損失引当金	80	15
その他	3,941	3,790
流動負債合計	6,647	7,383
固定負債		
長期借入金	0	0
退職給付引当金	2,158	2,134
その他	2,057	2,249
固定負債合計	4,216	4,384
負債合計	10,864	11,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,174	16,174
資本剰余金	16,523	16,523
利益剰余金	33,583	34,440
自己株式	△5,061	△5,061
株主資本合計	61,220	62,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194	386
土地再評価差額金	△2,617	△2,617
為替換算調整勘定	△4,413	△3,071
その他の包括利益累計額合計	△6,836	△5,302
少数株主持分	237	238
純資産合計	54,620	57,011
負債純資産合計	65,485	68,779

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年３月31日）
売上高	12,586	12,753
売上原価	8,363	8,844
売上総利益	4,223	3,909
販売費及び一般管理費	2,237	2,224
営業利益	1,985	1,684
営業外収益		
受取利息	17	23
受取配当金	8	3
持分法による投資利益	161	10
受取保険金及び配当金	－	19
その他	69	38
営業外収益合計	256	95
営業外費用		
支払利息	4	1
投資事業組合運用損	28	－
その他	4	3
営業外費用合計	37	4
経常利益	2,204	1,774
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	－	3
その他	－	0
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	198	18
その他	6	－
特別損失合計	206	19
税金等調整前四半期純利益	1,997	1,758
法人税等	499	664
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498	1,094
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△3	0
四半期純利益	1,501	1,093

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498	1,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	191
為替換算調整勘定	90	1,342
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	－
その他の包括利益合計	231	1,533
四半期包括利益	1,730	2,627
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,733	2,627
少数株主に係る四半期包括利益	△3	0

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	調査・コンサルティング事業	計測機器事業（国内）	計測機器事業（海外）	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,979	740	1,866	12,586	―	12,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	184	108	292	△292	―
計	9,979	924	1,974	12,879	△292	12,586
セグメント利益	1,617	123	228	1,969	15	1,985

（注）１．セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	調査・コンサルティング事業	計測機器事業（国内）	計測機器事業（海外）	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,541	1,669	1,542	12,753	―	12,753
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	237	73	310	△310	―
計	9,541	1,906	1,615	13,064	△310	12,753
セグメント利益	1,200	436	47	1,684	△0	1,684

（注）１．セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。